

私達(ヒト)は いつから夜空の星を観るようになったのでしょうか？
星は もしや 聴く「ヲド」なの？かも 知れません
「星を聴く」ということは 遠き「ヲチ」から超えて響く友の声
「おーい」に おおいに心をそばだてて
自分の今時分 居るキミのイチを知る
「反響」> エコー)))回・向(((ロケーション <定位？

「反響」> エコー)))回・向(((ロケーション <定位？

鳴く虫のほとんどには耳がありますが、その中には“足に耳がある”虫がいます。コオロギやスズムシの耳は足にあります。象(ゾウ)は足の裏でかけ離れた処に居る友と交信をします。イルカやコウモリ等の一部の動物は、自身が発する音波が帰ってくるまでの時間を利用して、対象との距離を測定するエコーロケーション(反響定位)を用いて周囲状況を把握しています。見ないで見つめるコエノヒトは、自身で発信する可聴音によって、このエコーロケーションが実現可能であるとされています。

あぶく。○ ◎象(ゾウ)は 足の裏で かけ 離れた)))を と・を ち(((におる 友 と 交信をします あぶく。○ ◎私(浅木)は ながらの座・座の あったかな 昔生した)))音(((庭を 蹴・ はだして ピタ ペタッ と 這い ~ 巡り ∞ ながら 懐い出した あぶく。○ ◎【ヒト】の ||| 頭蓋 ||| に ||| 付随 ||| する この 耳(((？ ミミ？)))は ほんの 飾り(((mimic-gimmick)))で、 あぶく。○ ◎「ほ・ん・と・う」は 「足に耳があった」のを あぶく。○ ◎「茲 ココ」音(((庭には【ヒト】には きっと 聴こ あぶく。○ ◎「えない Echo 反響」> エコー)))回・向(((ロケーション <定位 生き物達とる石のまいわぬ岩エ草の)))詩 -UTA-(((が 溢れ afflatus あぶく。○ ◎「ほら イマ 音ノ門」>> あぶく。○ ◎「闇」>> あぶく。○ ◎「洞(ホラ)を <<<くぐり抜けて みて Te, rra,から(空) あぶく。○ ◎「))」そら(((あぶく。○ ◎「音ノ郷」>>あぶく<<<響>>> あぶく<<< 即席・足跡・即石 ソクセキの -UTA-が ストン と(((◎)))っ こちてキタ ◎ ○ 。足裏のUNSEEN 命の でんでん伝 デン達 De・デ・電 ◎ 気信号の 声高な 問わず 岩頭(いわず)語り を ひとえに 足の耳石 >>>じしゃく <<<で 一夜限りの)))詩 -UTA-(((を Trans Latus して 足跡 即石 ソクセキで 詠い キミのイチを知るよ 「即石足耳石」)))ソクセキソクジヤク(((反響> エコー)))回・向(((ロケーション <定位

ジャンルの壁を超え音楽空間を彷徨う旅人 ——志人による古庭園に反響する言葉が生み出す新たなパフォーマンス

カツテ ヒト 虫我 ワスレ カケタ

生き物達のTrans Latusと即興詩に反響する音庭で生まれる

エコーロケーション [反響定位]という

コミュニケーション [伝達方法]を懐い出す

インプロビゼーション[即興詩パフォーマンス]

志人 sibitt

「即石足耳石」

反響> エコー)))回・向(((ロケーション <定位

)))足に耳がある 樸一ぼくーは 足跡・即石・ソクセキの詩-UTA- 聲(((ユ)) echoを詠み キミのイチを知る (((

2022年10月15日(土) 17:00開演 16:30開場 会場:ながらの座・座

定員:40名 参加費:一般 4,000円 ※入場時、別途ドリンク代500円を頂きます。

ながらの座・座 instagram:nagara_zaza/twitter:@nagara_zaza

ZaZa

https://nagara-zaza.net/

2022
10.15
(sat.)
ながらの座・座

志人 sibitt

「即石足耳石」

反響 > エコー))) 回・向 (((ロケーション < 定位



photo by Kousuke Mori

志人 sibitt

独自の日本語表現の探究により、言葉に秘められた全く新しい可能性をしめす。音楽表現のみならず、舞台芸術、古典芸術の分野においても国内外で活躍する表現者。近年は演劇、舞台芸術やボイスパフォーマンス、古典芸能の語部、言葉の起こりを表現した空間演出等、言葉と音をととの源流を探る芸術活動を行っている。2021年にセルフ・プロデュースアルバム『心眼銀河—SHINGANGINGA—』『視覚詩・触覚詩 心眼銀河 書契』を発表。2020年より、“8∞”の企画名で世界中の表現者とながる活動を企画・実施。

樸一ぼくーは ながらの座・座の苔生した音庭をヒトリシズカに訪れて
イシ言わぬ岩に反響し閃くLamé色の光のゆらぎに抱かれておりましたら
樸一ぼくーの足は自ずと耳になり 渉 ∞のエコーに吸い寄せられるようにして
いつしか靴という膜を脱ぎ、跣(はだし)になって ピタ ペタッと 詠うように 小躍りして
樸一ぼくーは それこそ虫・無私になりまして 僕(エゴ)を透かし
弥勒の樸一ぼくー というミイデラ歩行虫が御池へ向けて)))コ聲エ(((で語りかけましたところ
波打つ水面の輪に乗かって 無数の跳馬とおったま杓子が「まってー」と
濁の取れた一ぼ歩句くーの足耳石の元へ集 まって 舞って 来て
即身一ぼ歩句くー 歩行虫は ピタッ 少し止まって(歩)
何処へにもゆかず 苺 ここ で 踊る 即 石になったのです
其の刻 かつて ヒトデアッタ 樸一ぼくーの足には耳があった事を懐い出していました

この体験から産まれたのが「即石足耳石」)))ソクセキソクジシャク((((であります。

志人

2022年10月15日(土)17:00開演 ※開場は開演30分前

会場:ながらの座・座 定員:40名

参加費:一般 4,000円 ※入場時、別途ドリンク代500円を頂きます。

チケット取扱い:イープラス eplus.jp チケット発売日 2022.09.06

購入ページURL:<https://eplus.jp/sf/detail/3710220001-P0030001>



主催:一般社団法人文化農場(ながらの座・座)
後援:滋賀県・滋賀県教育委員会、大津市・大津市教育委員会、文化・経済フォーラム滋賀
特別協賛:中山倉庫株式会社 滋賀石油株式会社

◎新型コロナウイルス感染拡大予防について

「ながらの座・座」では、新型コロナウイルス感染拡大予防についてのガイドライン(公益社団法人全国公立文化施設協会発行)に対応して下記のような対策をとっています。入場は少人数ずつ、スタッフが誘導/手指の消毒のための備品設置/スタッフ・来場者ともマスクの着用/ご協力のほどよろしくお願いいたします。



ながらの座・座

「ながらの座・座」とは、登録有形文化財「橋本家住宅(旧・正蔵坊)」とその庭園を総称したものです。歴史ある環境が次々と壊されていく時代にあって、時が育んだ環境を今の時代に生かすことで次の時代に引き継いでゆけたら。そんな思いから有志のご協力を得て2011年秋より「建物と古庭園」を一体的に楽しむプログラムがスタートしました。

古い日本建築の持つ柔らかな空間や自然のホールともいえる古庭園を“生き物”として慈しみ、ここから実現できるクオリティの高い様々なパフォーマンス、実験的な試みなどを積極的に取り上げることがコンセプトに、愉しみながら文化財を保存・維持することを目指しています。



〒520-0035 大津市小岡町3-10

TEL&FAX 077-522-2926

MOBILE 090-8576-7999(橋本)

<https://nagara-zaza.net/>



- JR 大津より徒歩15分
- 京阪電鉄京津線「上栄町」より徒歩7分
- 名神高速「大津」または「京東東」より車で5分、またはR1号線→R161号線。
- コインパーキング「Times 大津日赤病院前」が座・座から徒歩3分程度のところにあります。22台駐車可です。